

株式会社 **MORESCO**

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第6 2期決算説明

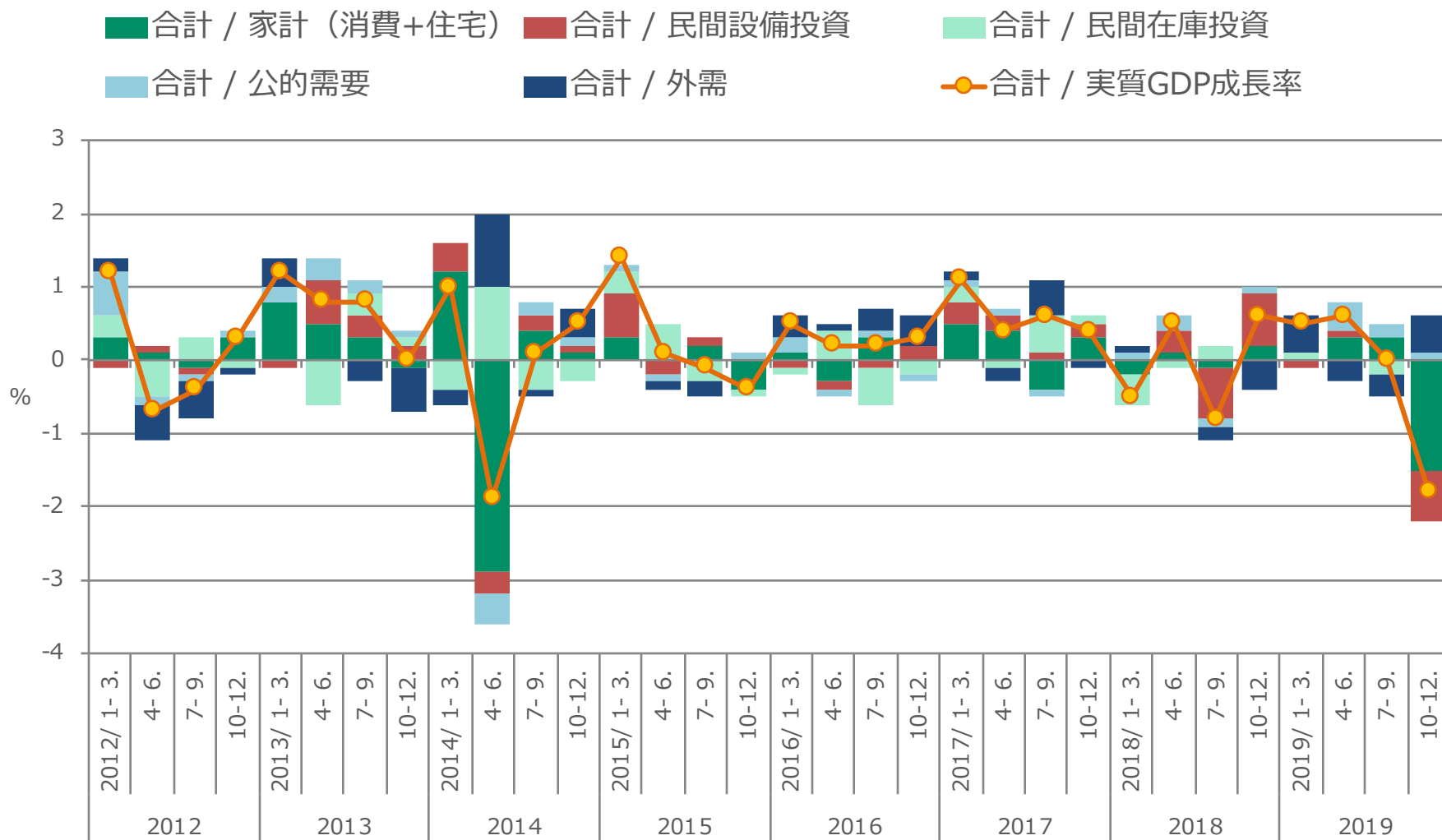
(2019年3月1日~2020年2月29日)

東証第一部5018 (石油・石炭製品)

2020/4

四半期別 実質GDP寄与度 推移

出展：内閣府



国内 月別 自動車生産台数

■ 2018.3-2019.2

■ 2019.3-2020.2

出典：自動車工業会
マークラインズ社

単位：千台

1,200

800

400

3月

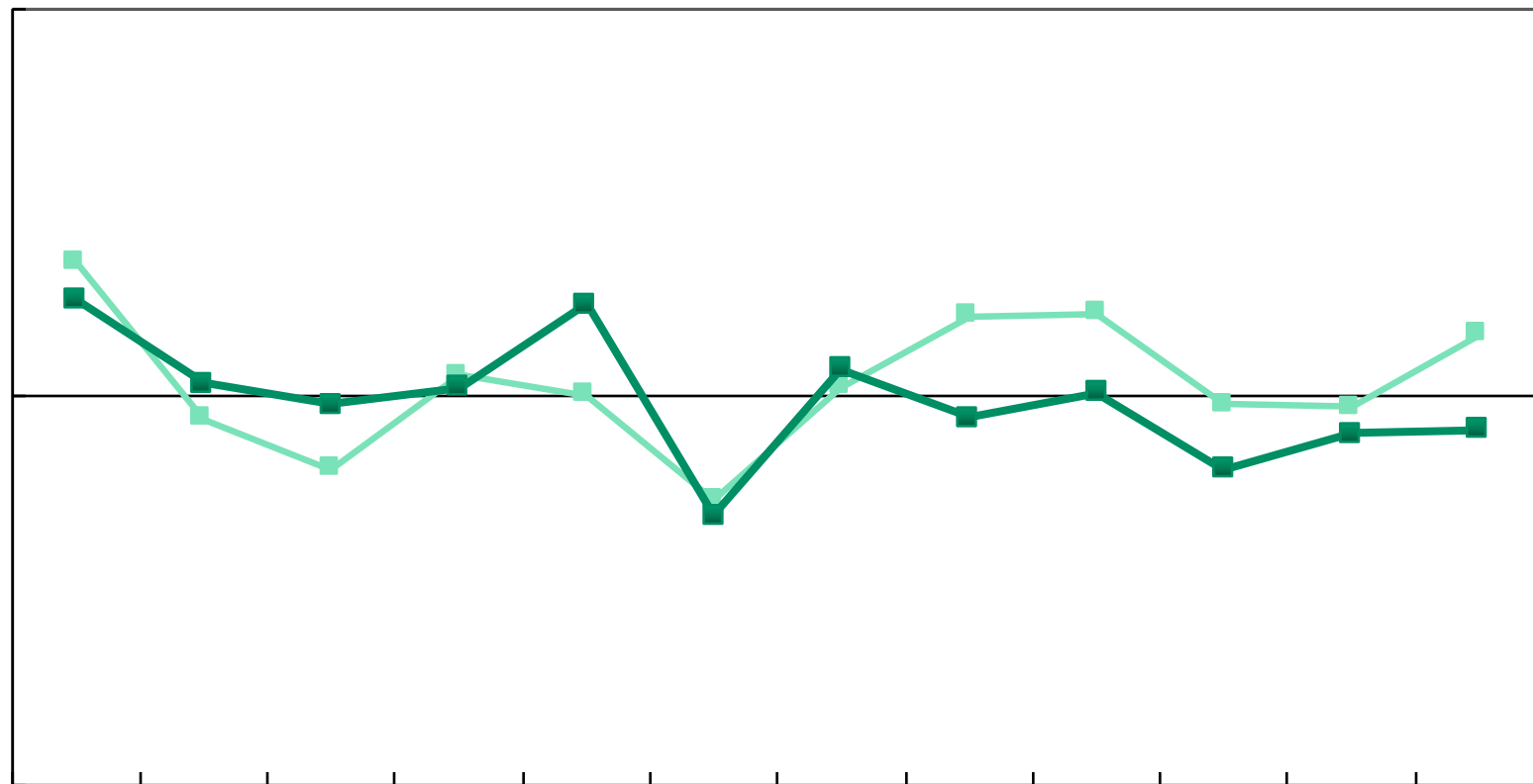
5月

7月

9月

11月

1月



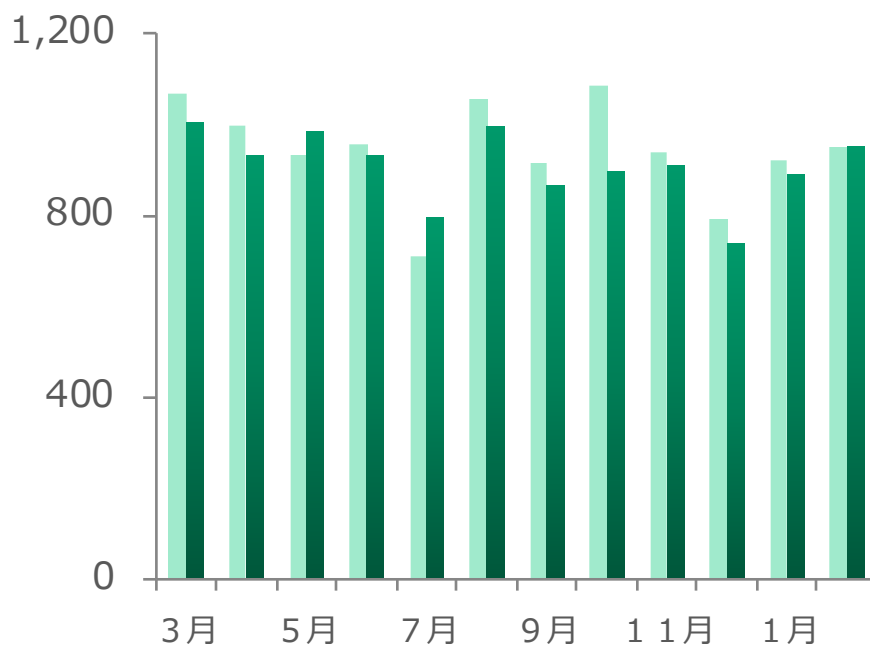
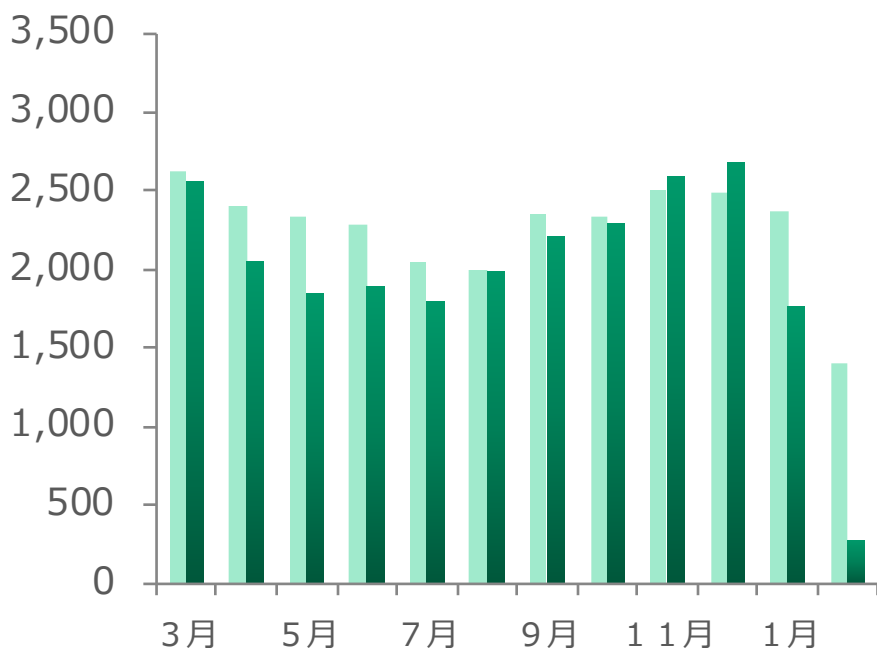
海外自動車生産台数の推移

■ 2018.3-2019.2
■ 2019.3-2020.2

単位：千台

中国

アメリカ



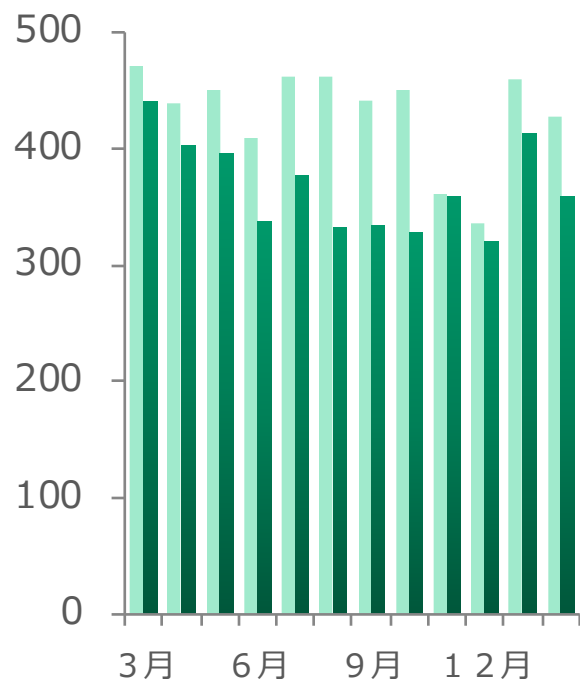
出典：マークライnz社

海外自動車生産台数の推移

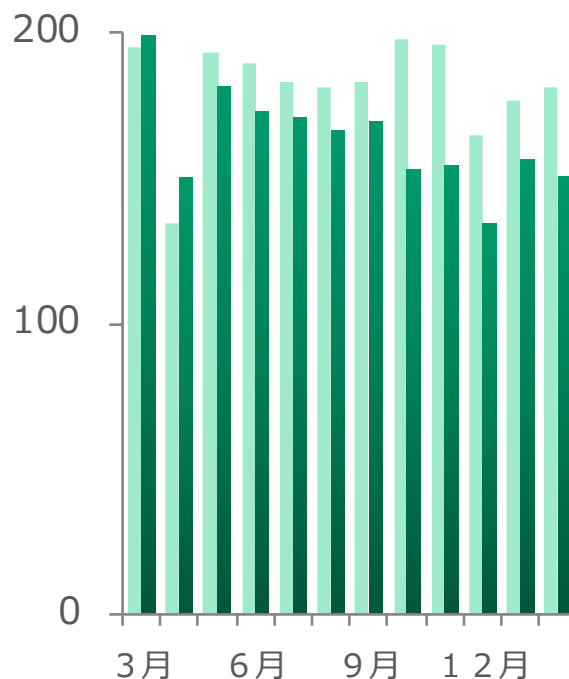
■ 2018.3-2019.2
■ 2019.3-2020.2

単位：千台

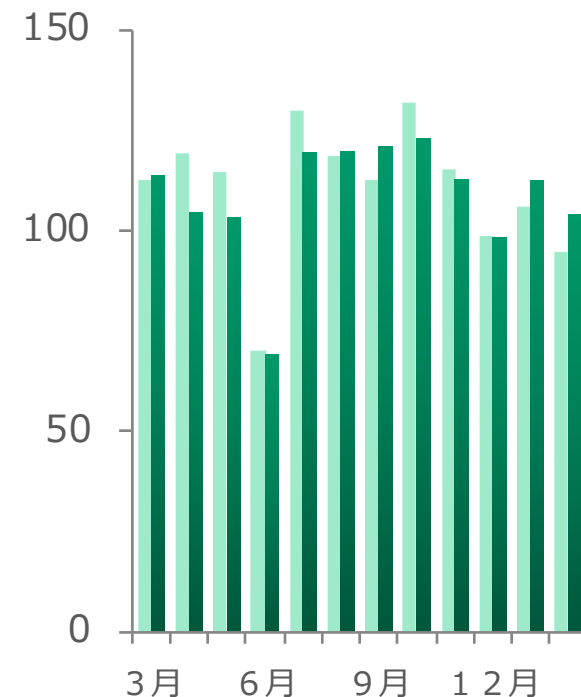
インド



タイ

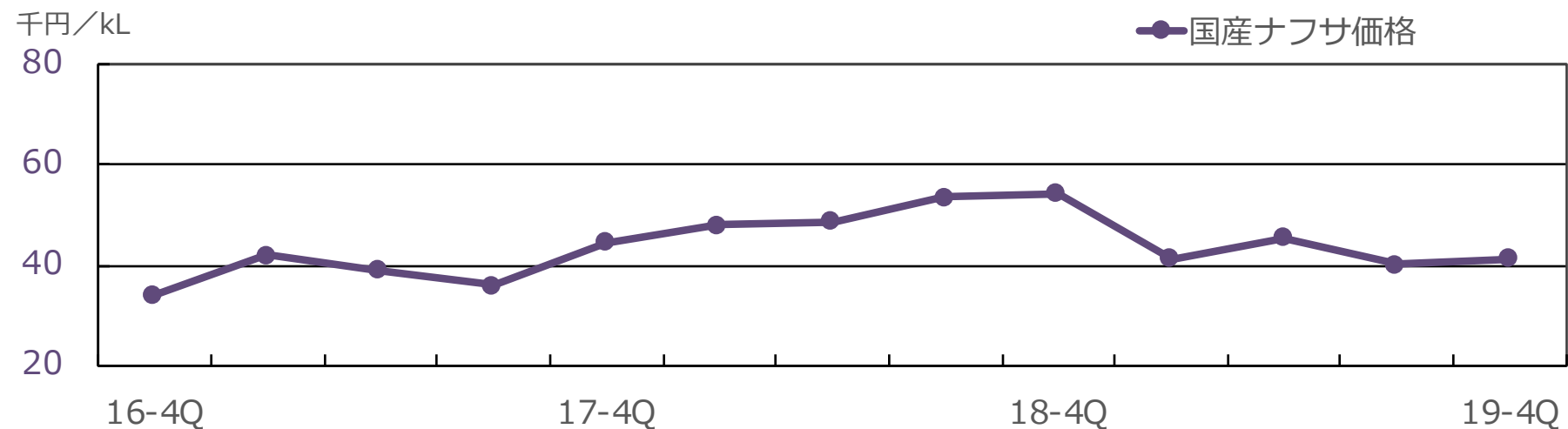
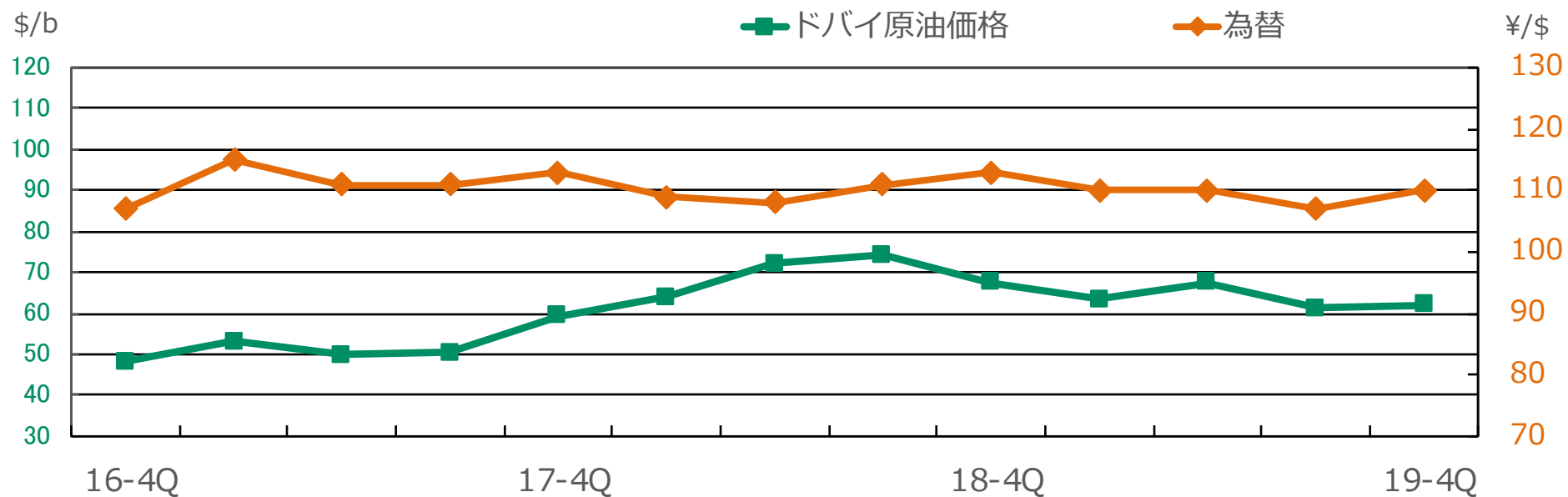


インドネシア



出典：マークラインズ社

当期の経営環境（5）



- 合成潤滑油・特殊潤滑油の売上減少。素材部門の原材料価格の上昇により減収減益。

単位：百万円

科目	19 / 2期	20 / 2期	前期比
売上高	28,806	27,064	△6.0%
売上総利益	9,319	8,734	△6.3%
販管費	7,369	7,456	+1.2%
営業利益	1,950	1,279	△34.4%
営業外損益	252	289	+14.8%
経常利益	2,202	1,568	△28.8%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,278	1,568	△31.2%
当期純利益 (※)	1,438	776	△46.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

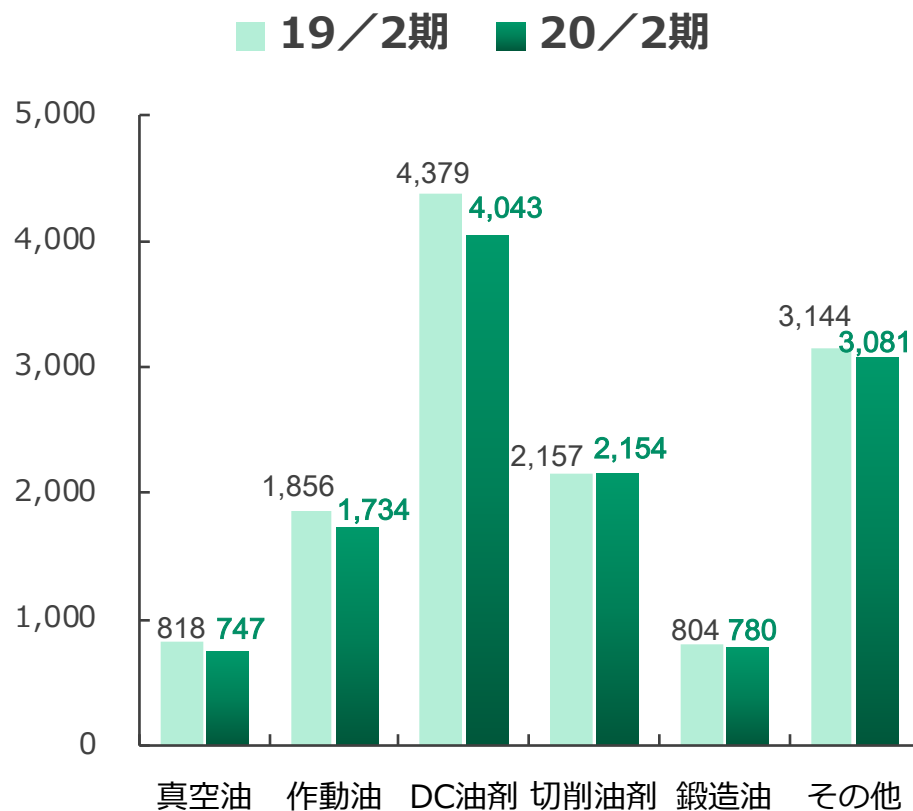
部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

科目	19 / 2期	20 / 2期	前期比
特殊潤滑油部門	13,158	12,540	△4.7%
合成潤滑油部門	2,602	2,115	△18.7%
（うち、HD潤滑剤）	(1,271)	(917)	△27.9%
素材部門	3,874	3,720	△4.0%
ホットメルト接着剤部門	7,318	6,882	△6.0%
その他	1,800	1,754	△2.6%
化学品事業計	28,752	27,011	△6.1%
ビル事業	53	53	+0.0%
売上高合計	28,806	27,064	△6.0%

➤ 部門全体の売上は前年比4.7%減（12,540百万円）
数量は5.5%減



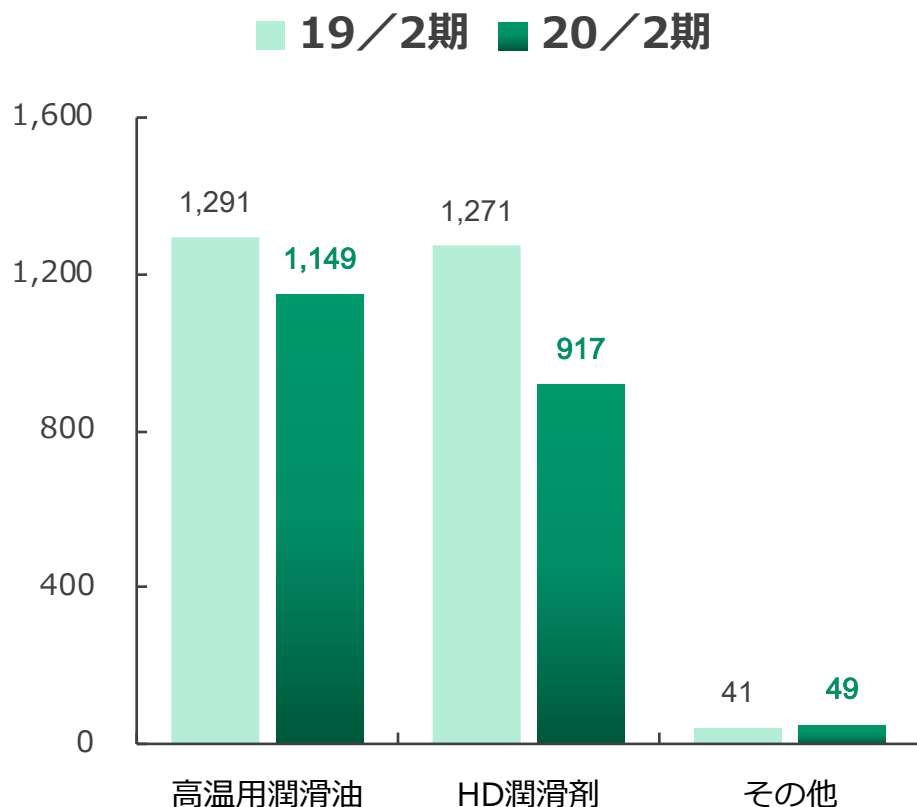
➤ダイカスト用油剤

中国の自動車生産台数の減少により減収。

➤切削油剤

国内外における既存顧客への出荷は減少したが、新規顧客の獲得により前年並み維持。

➤ 部門全体の売上は前年比18.7%減（2,115百万円）
数量は12.2%減



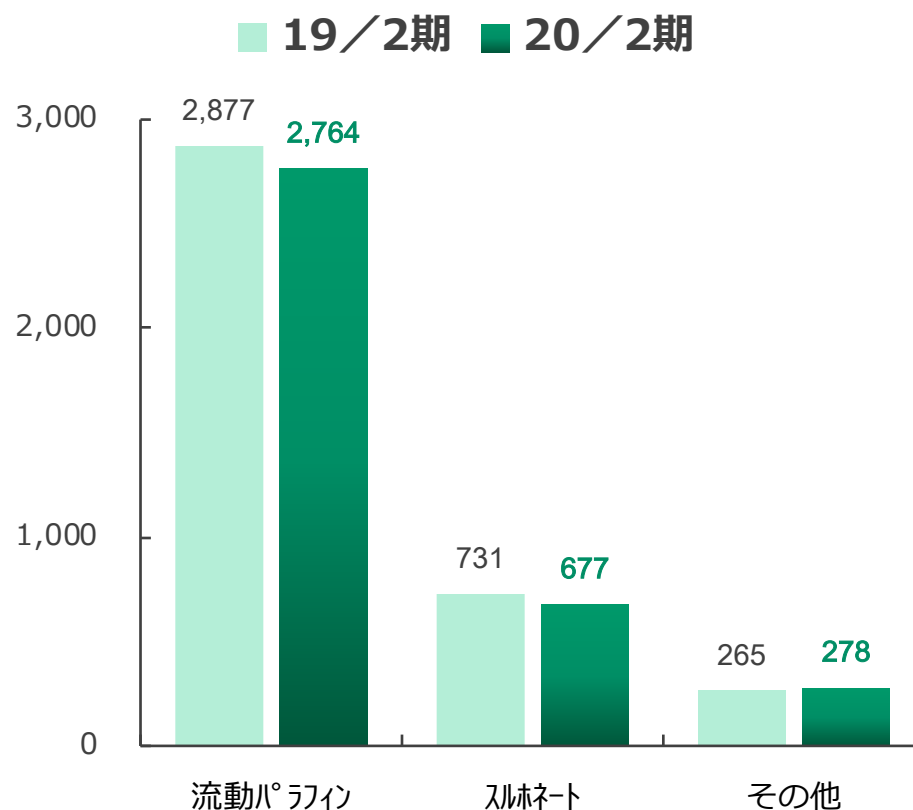
➤ 高温用潤滑油

自動車向けグリース基油用途
顧客の中国向け輸出減により減少。

➤ ハードディスク表面潤滑剤

ハードディスクドライブ市場の
縮小により減少。

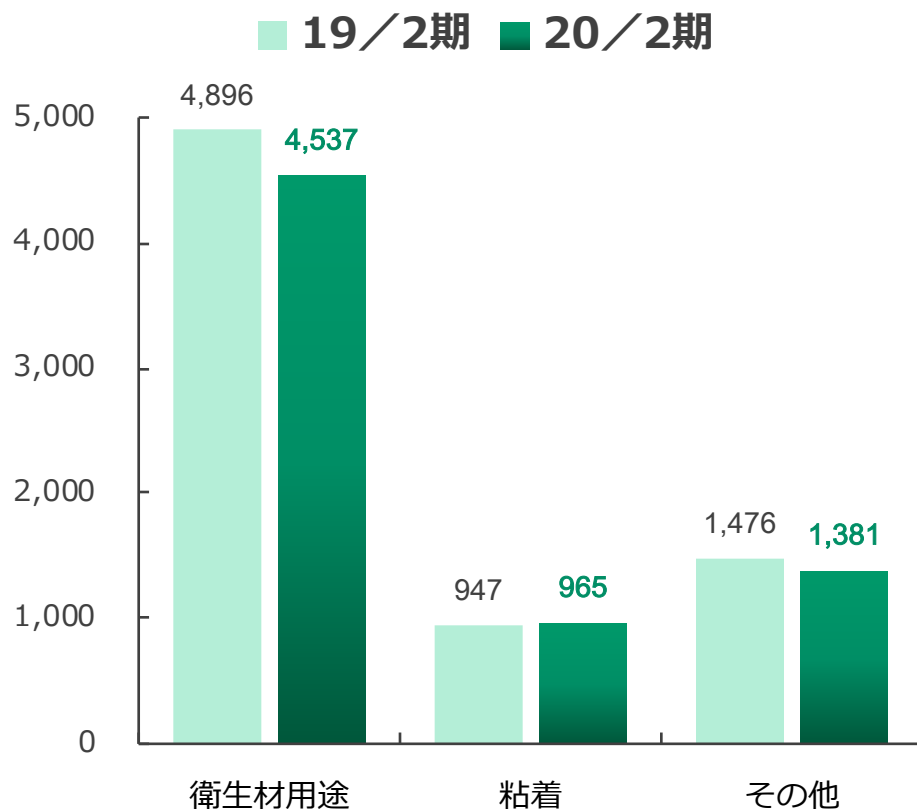
➤ 部門全体の売上は前年比4.0%減（3,720百万円）
数量は5.4%減



➤ 流動パラフィン

顧客での生産調整の影響等により
化粧品用途およびリチウムイオンバッテリー
用途等で売上が減少。

➤ 部門全体の売上は前年比6.0%減（6,882百万円）
数量は6.6%減



➤粘着用途

国内および中国においてラベル用途で売上が増加。

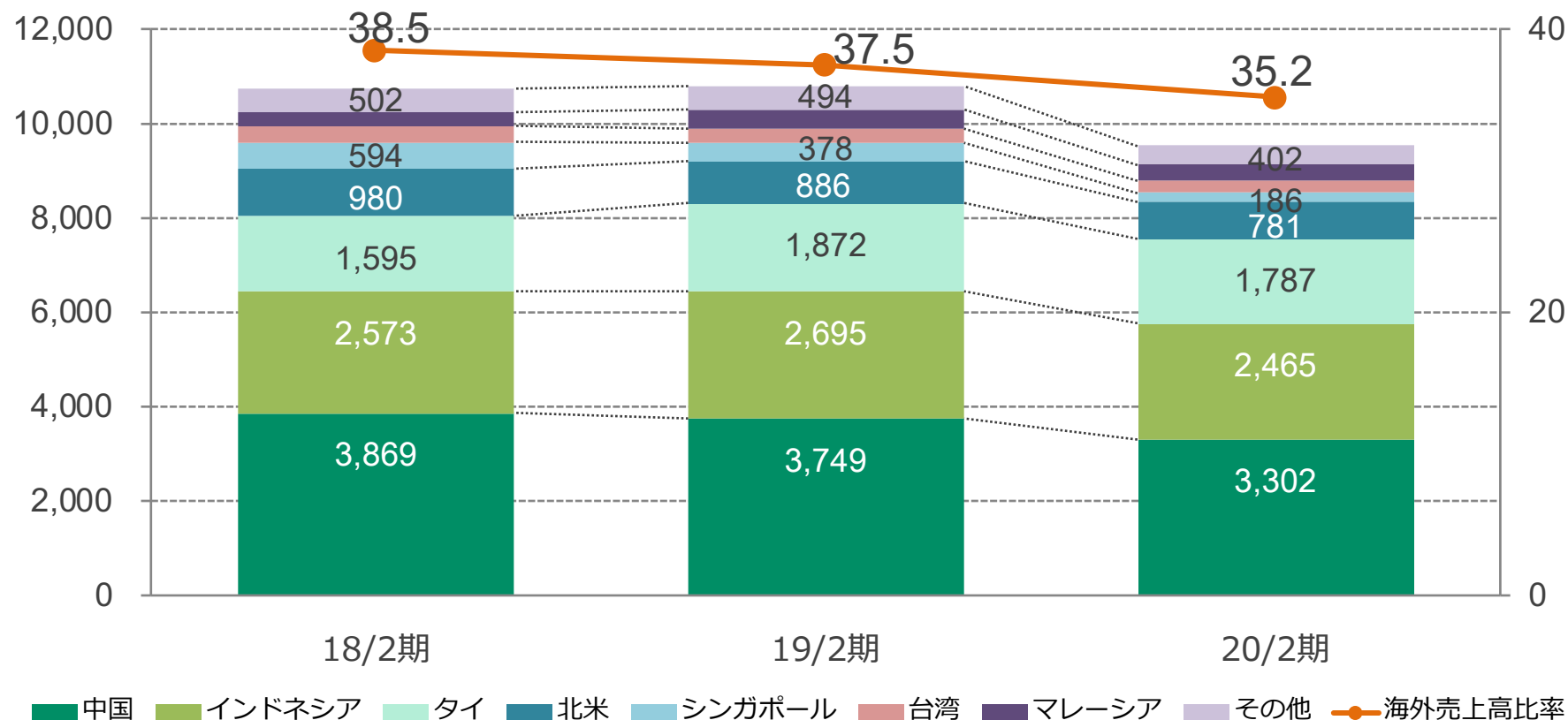
➤衛生材用途

国内外での生産調整等の影響により減少。

➤ 中国は、自動車生産台数減により、ダイカスト用油剤が減収。東南アジアにおいては、特殊潤滑油・ホットメルト接着剤が売上減少。

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	19 / 2期	20 / 2期	前期比
売上高	28,806	27,064	△6.0%
売上総利益	9,319	8,734	△6.3%
販管費	7,369	7,456	+1.2%
営業利益	1,950	1,279	△34.4%
営業外損益	252	289	△14.8%
経常利益	2,202	1,568	△28.8%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,278	1,568	△31.2%
当期純利益 ^(※)	1,438	776	△46.0%

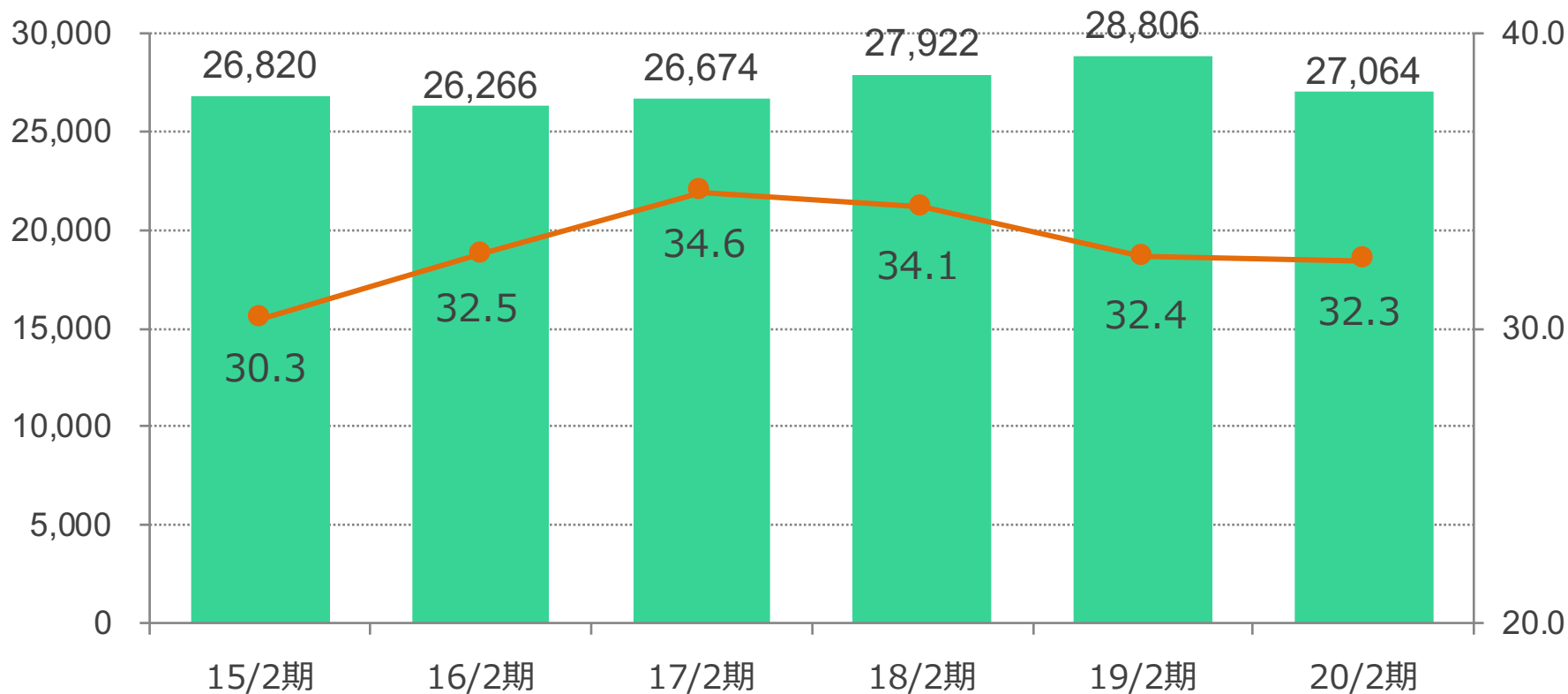
(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

➤ 合成潤滑油・特殊潤滑油の売上減少。素材部門の原材料価格の上昇により減収減益

単位：百万円

■ 売上高 ● 売上総利益率

単位：%



決算概要 連結損益計算書

単位：百万円

科目	19 / 2期	20 / 2期	前期比
売上高	28,806	27,064	△6.0%
売上総利益	9,319	8,734	△6.3%
販管費	7,369	7,456	+1.2%
営業利益	1,950	1,279	△34.4%
営業外損益	252	289	△14.8%
経常利益	2,202	1,568	△28.8%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,278	1,568	△31.2%
当期純利益 ^(※)	1,438	776	△46.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

単位：百万円

	19 / 2期	20 / 2期	増減	前期比
販売費・一般管理費	7,369	7,456	+87	+1.2%
うち、研究開発費	1,416	1,420	+4	+0.3%
売上高販管費比率	25.6%	27.5%		
売上高研究開発費比率	4.9%	5.2%		

決算概要 連結損益計算書

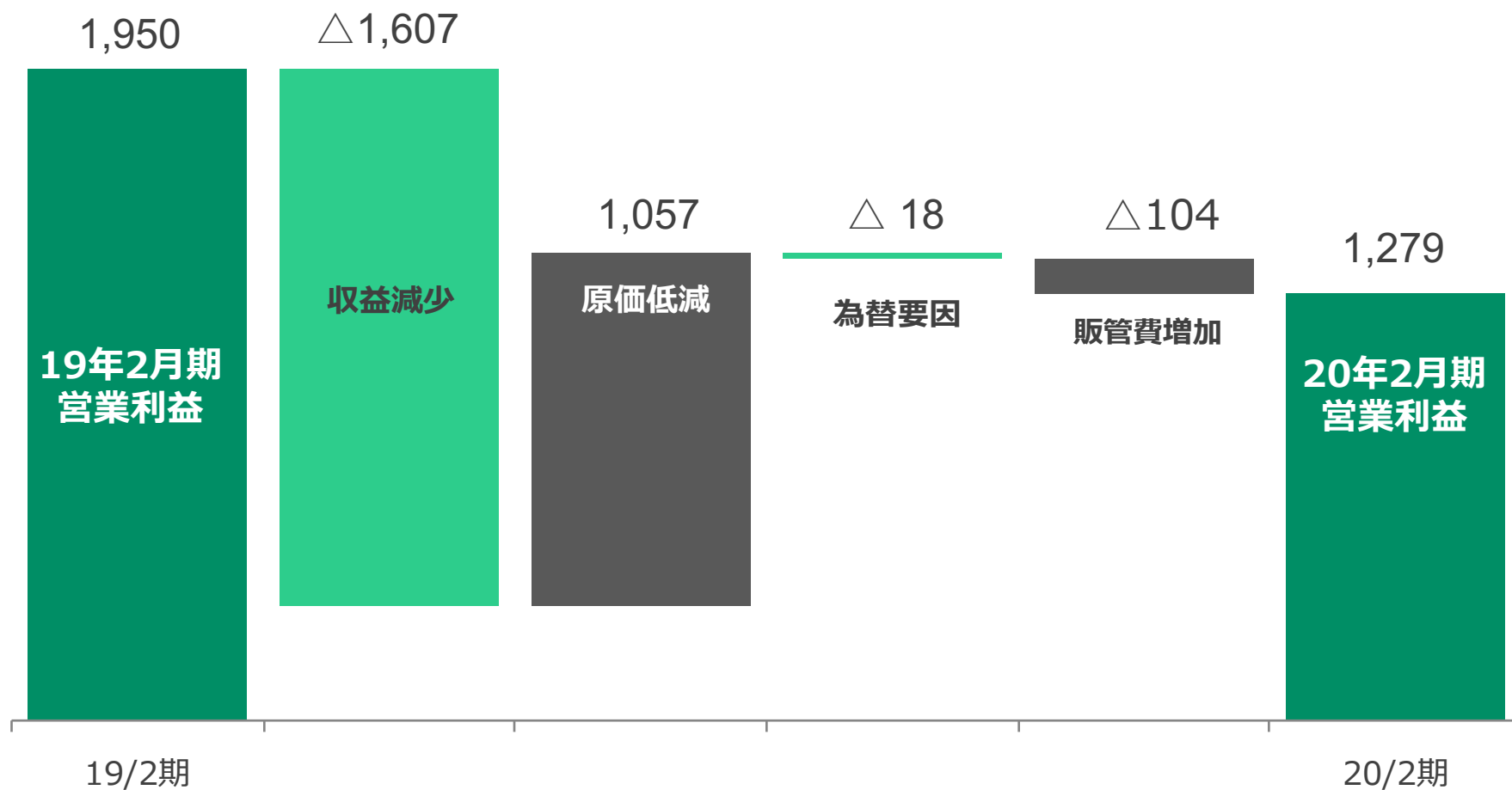
単位：百万円

科目	19 / 2期	20 / 2期	前期比
売上高	28,806	27,064	△6.0%
売上総利益	9,319	8,734	△6.3%
販管費	7,369	7,456	+1.2%
営業利益	1,950	1,279	△34.4%
営業外損益	252	289	△14.8%
経常利益	2,202	1,568	△28.8%
特別損益	76	—	—
税引前利益	2,278	1,568	△31.2%
当期純利益 (※)	1,438	776	△46.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

營業利益變動要因

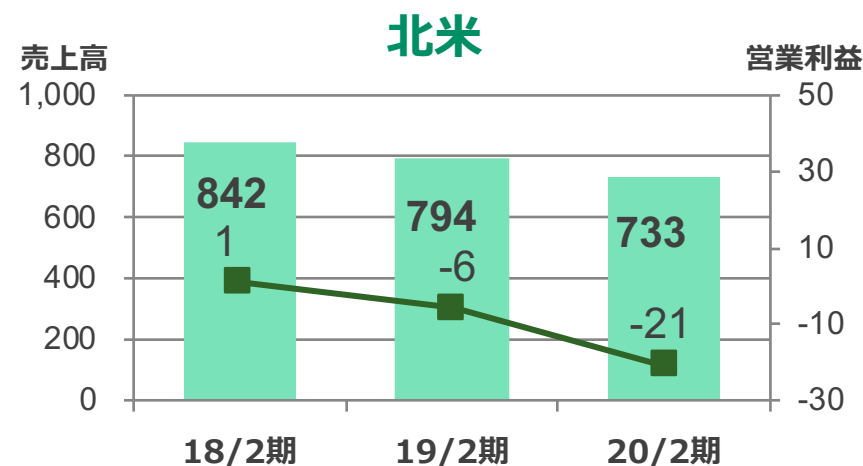
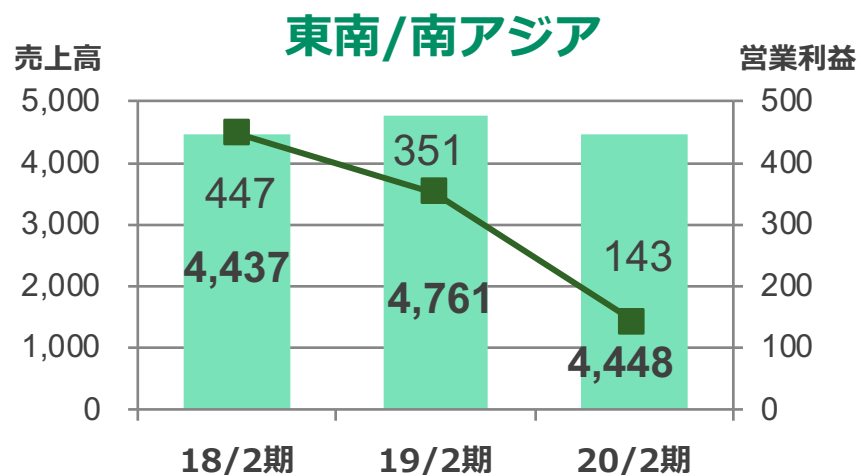
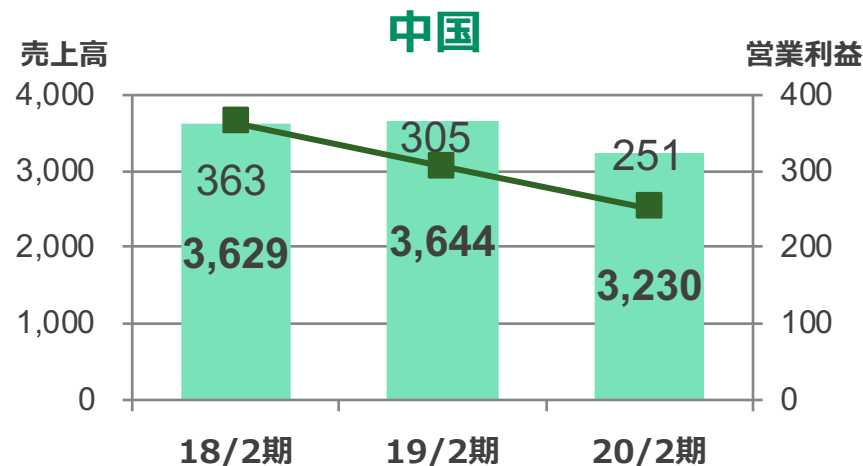
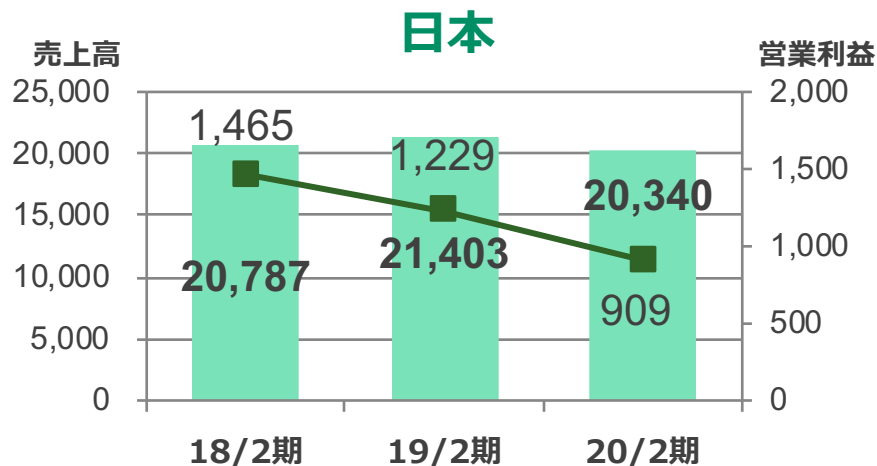
単位：百万円



地域別損益（連結）

■ 売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



貸借対照表（連結）



科目	20/2期末	増減	科目	20/2期末	増減
現預金	3,576	199	仕入債務	4,072	△455
売上債権	6,720	△143	有利子負債	3,585	637
棚卸資産	4,779	114	その他流動負債	1,650	△752
その他	360	63	その他固定負債	612	10
流動資産計	15,436	234	負債合計	9,919	△561
有形固定資産	9,034	△197	資本金・資本剰余金	4,098	0
無形固定資産	1,046	△229	利益剰余金	11,998	297
投資その他	2,613	65	自己株式	△157	16
固定資産計	12,693	△361	包括利益累計額	△7	△85
			非支配株主持分	2,278	207
			純資産合計	18,209	434
資産合計	28,129	△127	負債・資本合計	28,129	△127

注) 増減：19/2期末との比較

単位：百万円

科目	19 / 2期	20 / 2期	増減
設備投資額 合計	2,329	892	△1,436
MORESCO	1,218	392	△827
連結子会社	1,110	501	△610
減価償却費	1,251	1,348	+97

➤ 主な設備投資（取得ベース）

- 本社研究開発設備
- 赤穂工場製造設備合理化
- 千葉工場製造設備合理化
- MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED工場建設

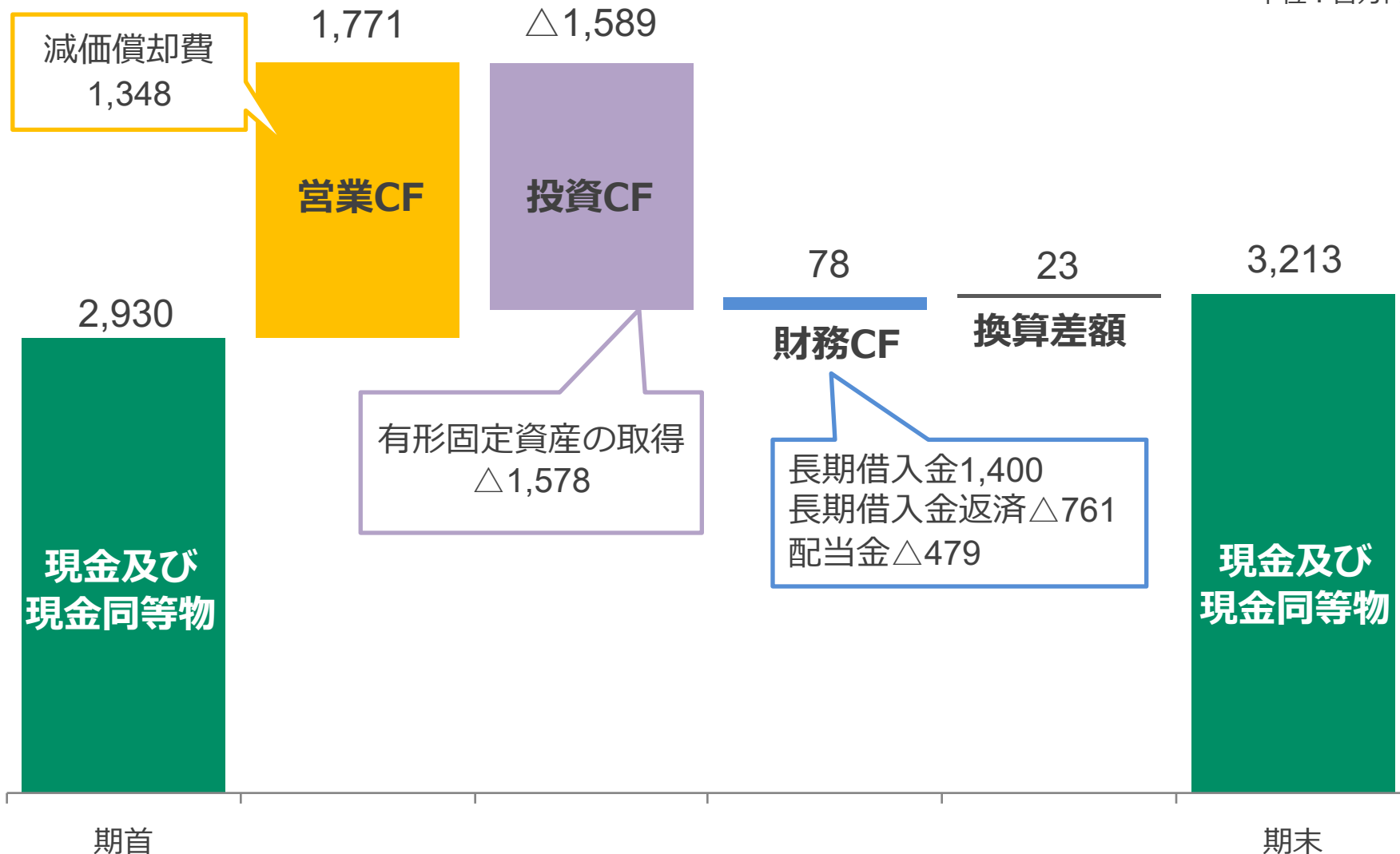
科目	19 / 2期	20 / 2期	増減
短期借入金※	2,173	2,341	+168
長期借入金	775	1,244	+469
借入金合計	2,948	3,585	+637

有利子負債比率	10.4%	12.7%
---------	-------	-------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

キャッシュフロー（連結）

単位：百万円



- 中期的に成長の見込まれる、中国・北米・インドを需要市場と位置付け、潤滑油・ホットメルト接着剤の更なる拡販を図る。

科目	2019年度	2020年度予想
売上高	27,064	27,000
営業利益	1,279	1,000
経常利益	1,568	1,300
当期純利益	776	700

中期経営計画

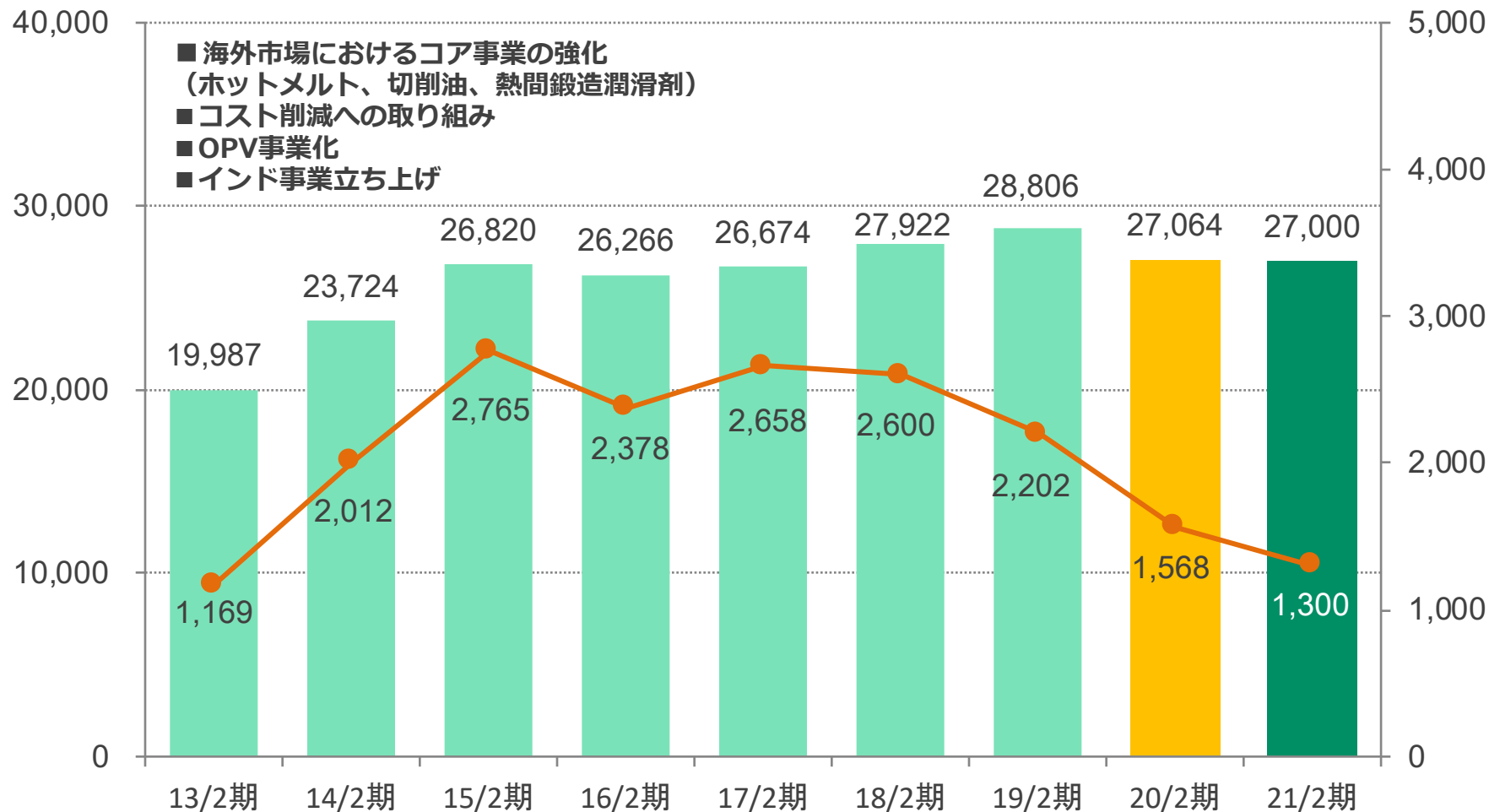
直近の業績と第8次中期経営計画（修正）

(2018～20年度)
2020/3/10発表



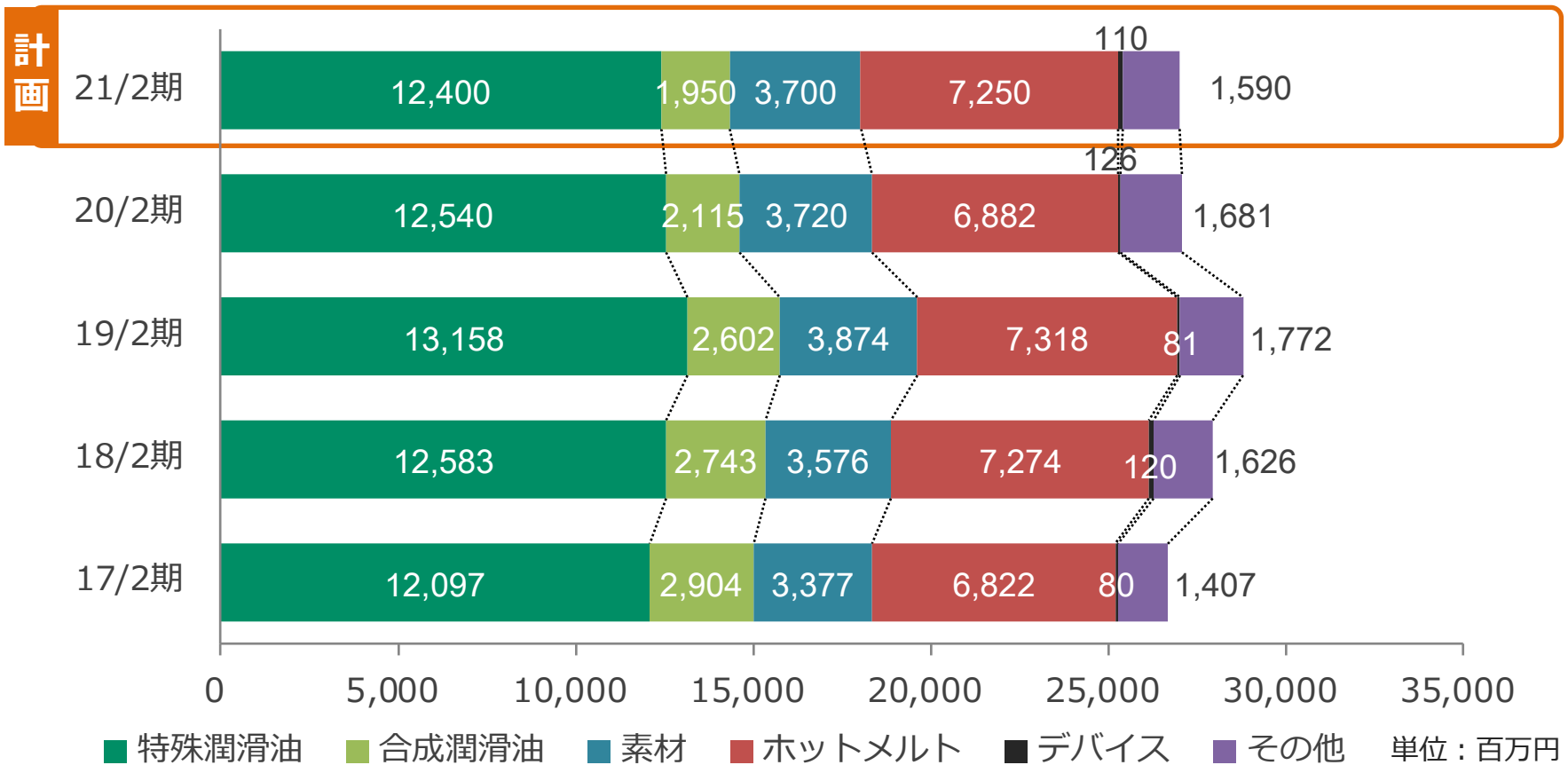
■ 13/2～19/2期売上高 ■ 20/2期売上高 ■ 21/2期売上高（計画） ● 経常利益

単位：百万円



中期計画 部門別売上高の推移（連結）

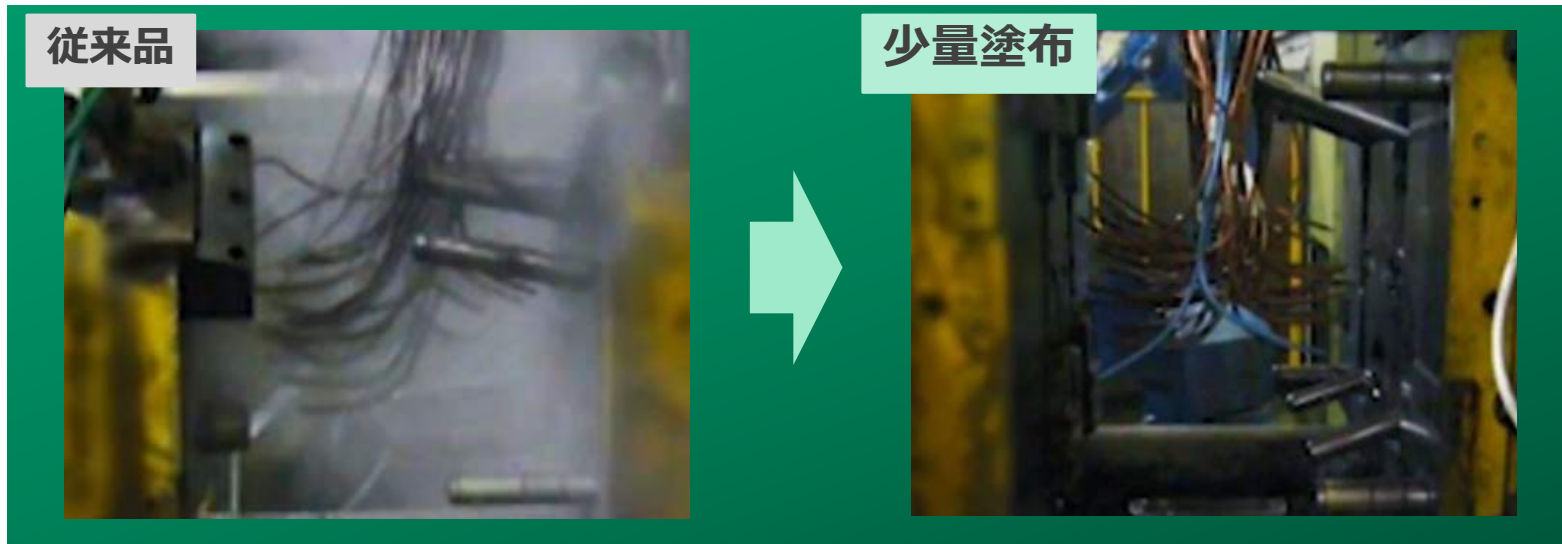
➤ 水溶性少量塗布型離型剤、低臭気ホットメルト接着剤などの新製品を拡大



新製品・研究開発

➤ 水溶性少量塗布型離型剤

- 希釈タイプと比べて約1/100の塗布量を実現したダイカスト用離型剤を拡販中



◆ メリット

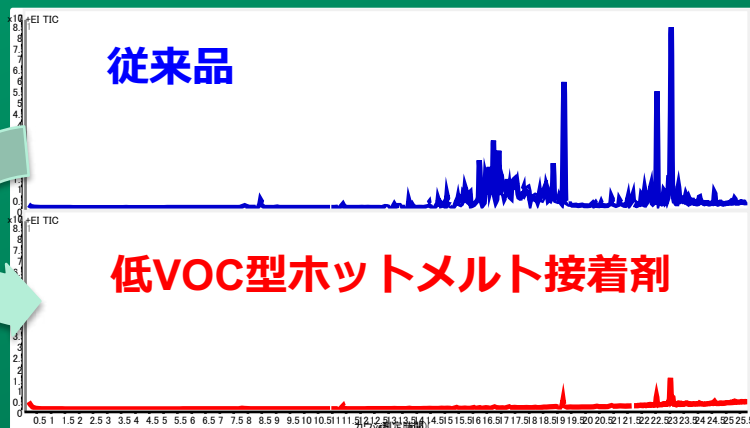
- ・ 使用量減少によりお客様のトータルコストを削減
- ・ 廃液がほぼゼロになり、環境負荷を低減
- ・ 飛沫を防ぐことで作業環境を改善
- ・ 金型の超寿命化を実現（約2倍に伸びた例あり）

➤ 低VOC型ホットメルト接着剤

- 有機溶剤を使用しないホットメルト接着剤から、わずかな揮発性有機化合物(VOC)も除去

ホットメルトから発生するVOC削減に成功！

天津莫莱斯柯科技有限公司にて生産を開始



◆ メリット

- ・ 環境負荷を低減による中国の環境規制に対応
- ・ 安全性をさらに向上させ、シックハウス症候群等を防ぐ。

➤ 「USA」 チップ潤滑剤REシリーズとバックスプレーシステムのデモ機と訪問実演提案

- ・ 適量を確実に塗布することで生産効率を向上
- ・ REシリーズは潤滑性に優れスリーブ及びチップを長寿命化
- ・ 発生ガス量が大幅に抑制され鑄巣対策に最適
- ・ 白タイプにつき作業環境を改善



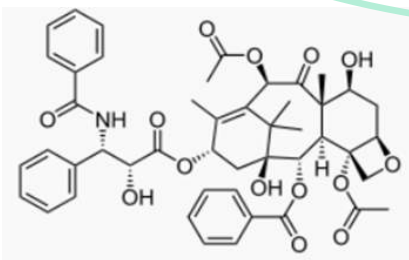
バックスプレー方式のデモ機



訪問実演車

➤ 医療材料プロジェクト

ヒット化合物



① 創薬研究

構造活性相関解析

リード化合物

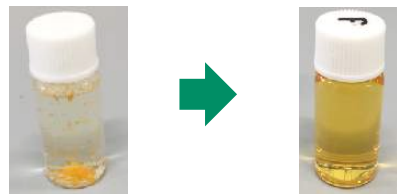


前臨床化合物



② ナノエマルジョン応用

化粧品・サプリへの展開



コエンザイムQ10
クルクミン等

③ バイオ研究支援試薬

細胞成長促進剤
遺伝子デリバリー



大学等研究機関と
共に開発推進

当社強みの合成化学
技術を生かして！

➤OPV開発部

◆有機薄膜太陽電池(OPV)の特徴
軽い、曲がる、カラー、シースルー

MORESCO OPV



様々な設置場所を想定可能



緑の葉の部分で発電し、スマホ等を充電できるベンチ（本社中庭に設置）

◆課題

- ・発電効率、安定性、寿命、材料（多種、変動）
- ・他の薄膜系と差別化された用途の発掘

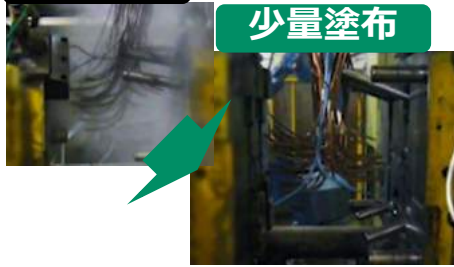
➤ MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED

- 2019年7月より本格稼働を開始。経済成長が著しく、市場が急激に拡大しているインドで、特殊潤滑油およびホットメルト接着剤の現地生産、販売を推進。2020年1月に神戸市の久元市長がインド工場を視察。



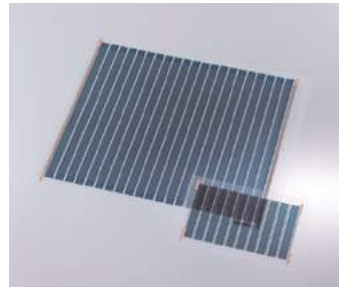
➤ 環境にやさしい製品の開発

従来品

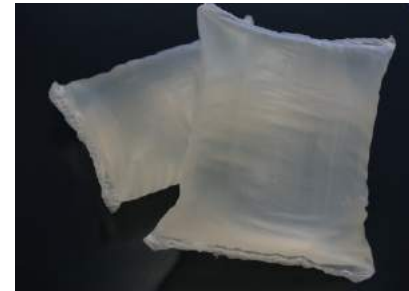


少量塗布

水溶性少量塗布型
離型剤



有機薄膜太陽電池
(OPV)



低VOC型ホットメルト
接着剤



廃水処理装置

➤ 当社拠点のある3市に福祉車両を贈呈 (2013年度～)



2020年2月神戸市 (兵庫)



2020年2月赤穂市 (兵庫)

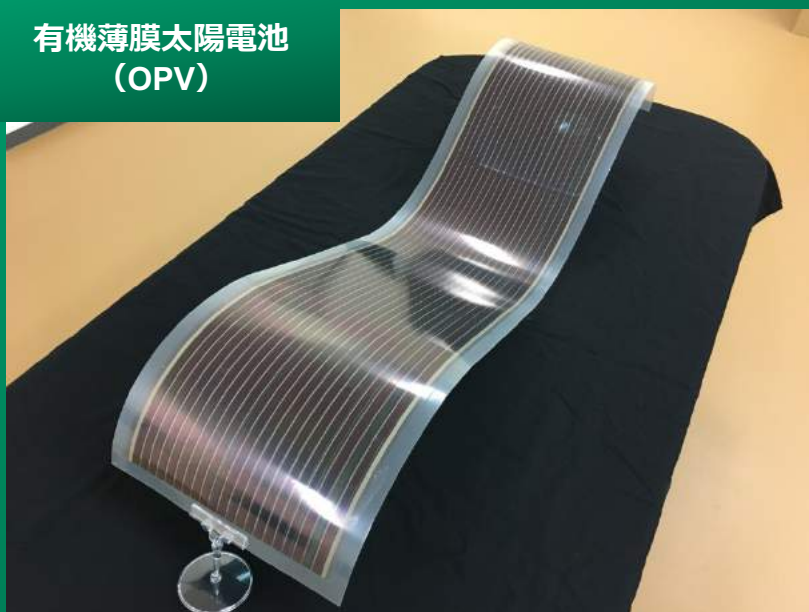


2020年3月市原市 (千葉)

▶神戸市環境奨励賞を受賞

神戸市から、環境に配慮した製品（ホットメルト接着剤、有機薄膜太陽電池（OPV）、ダイカスト用離型剤）の推奨・普及に努めている点、本社・研究センター周辺の清掃活動が評価されました。

有機薄膜太陽電池
(OPV)



本社・研究センター
周辺の清掃活動

➤ MORESCO流「働き方改革」

業務革新による労働生産性の向上、多様な働き方の推進、定年再雇用制度の充実を図り、従業員が更に活躍できるMORESCOを目指します。

取り組み内容

- ・ 有給休暇取得の奨励
- ・ 8月の会議を原則ゼロにする「ハッピーオーガスト」
- ・ 女性管理職の積極的登用
- ・ 育児休業など各種制度の充実
- ・ フレックスタイムの充実



安心して働き、活躍できる職場作りが評価され
ひょうご仕事と生活センターから
「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」に認定されました。



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

2020/4

<http://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058 (広報室)